



ほけんのまどから



10月感染症情報

幼児1名 新型コロナウイルス

急に寒くなったと同時に咳・鼻水のお子さんが多く見られました。気温差や乾燥で体調を崩しやすくなります。十分な休息をとっていきましょう。

おしらせ

☆インフルエンザワクチンの接種時期です。

重症化を防ぐ為に積極的な接種を。

☆新しい乳児医療証のコピーがまだの方は提出をお願いします。

子どもの爪ケア

*子どもは月齢が小さいほど爪が薄く、割れたりする事はよく見られるトラブルの一つです。これから寒くなり、裸足の保育園生活では爪トラブルが起きやすい時期となります。定期的に爪のケアもしていきましょう。

*2枚爪:爪の先が2枚になる事をいいます。乾燥と外的刺激が原因で、割れた部分をテープで保護するか切り取って、保湿剤を塗りましょう。靴が小さい場合もあるので見直すと。

*爪の切り方:切る長さは、指先と揃えるつもりで切ると良いです。短く切りすぎたり、角を切りすぎると巻き爪や陥入爪の原因になります。赤ちゃん用のハサミ型の爪切りや、割れやすい時は爪やすりを使う方法もあります。

*爪の周りが赤くなっている、膿んでいる場合は治療が必要な場合があるので小児科か皮膚科を受診しましょう。

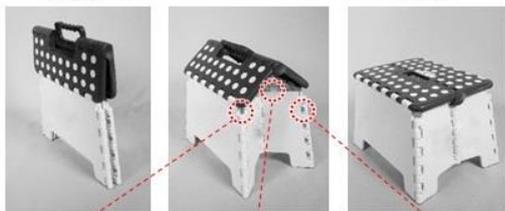
参考:小児科オンラインジャーナル

子どもたちを 事故から守ろう!

樹脂製の折りたたみ式踏み台 (例)

(写真は国民生活センターの公表資料より)

収納時 ← 使用時



① 脚部の隙間 ② 天板と脚部の隙間 ③ ヒンジの隙間

折りたたみ・展開 により 隙間が変化

乳幼児の力でも天板を持ち上げられる 挟まった指先を切断する事故も発生

乳幼児が手指を挟み切断する事故が複数報告されています!

国民生活センターは乳幼児に折りたたみ式踏み台に触れさせないよう呼び掛けています。

事故ケースでは、年上の兄弟児用に使用していた踏み台に乳幼児が手を挟み受傷しているケースがありました。踏み台は折りたたみ式でない物にするか、乳幼児の手が届かない場所に置き場所を工夫する等して事故を防いでいきましょう。

引用:消費者庁、国民生活センター公表資料

冬のスキンケアについて

冬は空気が乾燥し、皮膚がかさかさや荒れ、痒みがでることがあります。子どもは、肌のバリア機能が未発達なので、乾燥すると、そのバリア機能がどんどん失われるため荒れていきます。肌を保護するバリアがない状態で乾燥が進むと、あかぎれや発疹など、様々な皮膚トラブルがでやすくなります。家庭での日常的なケアを心掛けて良い状態を保ってあげましょう。



スキンケア3か条

① しっかり保湿

お風呂上がりの肌に湿り気があるうちに使うと、角質層に水分を閉じ込められるので効果的です。

② 清潔を保つ

お風呂ではごしごしこすらず、石鹸を泡立てて優しく洗います。

③ 刺激を少なくする

肌着は綿素材がお勧めです。ポリエステルなどの合成繊維は静電気を起こしやすく痒みの原因になることもあります。湿度は50%以下にならないように調節しましょう。

※伸びた爪で強くかいてしまうと皮膚のバリア機能が低下し、湿疹や炎症が悪化します。また、お友達を傷つけてしまうこともあります。定期的に爪を切るようお願い致します。

これでつるつるんだね



たっぷり泡立てて手で洗うんだって

